

徳田一徳 小説家。明治二十八年夏(戸籍上二十七年一月二十日)東京生まれ、昭和五十六年七月一日没(九三一一八)。作家徳田秋聲の長男。昭和二年慶應義塾大学中退。七年雑誌『あらくれ』編輯。

著書『縛られた女』(昭和十二年八月十日砂子屋書房)、『あらくれ六町』(昭和十四年十一月十日青木書店「都會文學叢書」)、『短篇一四千人集』(合著・月刊文藝編輯部編、昭和十五年二月十八日厚生閣)、『受難の藝術』(昭和十六年九月二十日豊國社)、『北の旅』(昭和十七年九月二十日櫻井書店)、『軍人検閲文藝作品集・第二輯』(合著、昭和十八年七月二十日軍人保護院編刊)、『北の旅』(昭和二十一年十一月十五日喜久屋書店)等。

